

## 平成 23 年度 事業計画書

(平成 23 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日まで)

### 【実施方針】

- 1 生涯学習関連機関との連携、ネットワークを構築することを通して、市民ニーズを踏まえた事業展開を図る。
- 2 市民参画を進め、市民による市民のための学習活動を支援する。
- 3 財団が有する専門性・柔軟性を活かしながら、効率的・効果的な事業運営を行う。

### 【事業計画】

#### 1 **学習機会提供事業**

(寄附行為第 4 条第 1 号に掲げる事業)

(目的) 施設機能を有効に活用し、市内の関係機関及びサークル・団体との連携を図りながら、市民の多様化した学習ニーズに対応した学習機会を提供する。

##### (1) さっぽろ市民カレッジ事業

年 3 期 (平成 23 年 4～8 月、9～12 月、平成 24 年 1～3 月)、幅広い年齢層を対象に、市民活動系、産業・ビジネス系、文化・教養系の 3 つの系を柱に開講し、<ちえりあ学習ボランティア企画講座>や<ご近所先生企画講座>などを盛り込む。

大学、区民センター等との連携を進めるとともに、市立札幌大通高校を会場に学校教育と連携する<学社融合講座>を実施し、世代間交流を進め、学びのコミュニティづくりを図る。

また、お試し講座の実施など、受講生を増やすための取り組みを積極的に行う。

平成 23 年度には、以下の 271 講座を予定している。

**ア 市民活動系（33講座）**

ボランティアや地域活動等に必要な知識・技術を身につけ、スキルアップを図る。

**イ 産業・ビジネス系（30講座）**

職業能力の向上、産業の振興、社会人の学び直しなどに役立てる。

**ウ 文化・教養系（53講座）**

自己実現をめざし、生きがいを学ぶ。

**エ ご近所先生企画講座（155講座程度）**

市民自らが、経験や学習成果を活かして開設する講座の企画・運営を支える。

**(2) 生涯学習関連機関等連携事業**

**ア インターンシップ等の実施**

学校と連携し、就業体験研修（インターンシップ）や社会教育主事課程を履修している学生の実習等を受け入れる。

**イ 各区との連携事業の実施**

ノウハウやネットワークを活かし、区役所等と連携してまちづくりの推進に寄与する事業を実施する。

**ウ さっぽろふるさと学の集い**

大学、地域学の実践者、団体等と連携して、シンポジウムや分科会を行い、交流と情報交換を図りながら、ネットワーク化を推進する。(平成23年9月 隔年実施)

**2 人材活用育成事業**

(寄附行為第4条第2号に掲げる事業)

(目的) 市内の関係機関及びサークル・団体との連携を図りながら、学習活動を通じた市民活動及びまちづくり活動を担うことのできる人材を育成する。

## (1) 学習支援者活用推進事業

市民カレッジの受講修了者等による講座を設けるなど、学んだ成果を積極的に活かす場をつくる。

### ア 市民講師育成

〈ご近所先生企画講座〉を開こうとする市民に向けて、必要な知識やノウハウの取得、資質向上のための研修会等を開催する。

また、地域における「生涯学習によるまちづくり」の担い手となるよう、その活動を支援する。

### イ 市民ファシリテーター

「ファシリテーションの基礎」等の講座修了者に、同講座の補助講師を務めてもらうほか、他の事業でも成果の活用を図る。

### ウ ちえりあビデオクルー

映像メディア等に関する講座の受講生によるグループに、生涯学習センターの事業、まちづくり活動、地域の行事や文化・自然などを撮影・編集してもらい、作品を発信・保存していく。

### エ コーラスボランティア「チェリーズ」

「楽しく歌ってボランティア」講座の修了者により新たに結成されたボランティア団体「チェリーズ」に、同講座の企画・運営の補助に当たってもらうとともに、ボランティア・まちづくり活動の担い手となっていけるよう支援する。

## (2) 生涯学習関連施設職員研修事業

区民センターや地区センター等の職員を対象に、地域住民の学習活動及びまちづくりを支援するための研修講座を実施する。(平成24年2月)

## (3) 生涯学習ボランティア育成事業

市民カレッジ講座の企画・運営等に関わる「ちえりあ学習ボランティア」、視聴覚教育に関わるボランティア「オンデマンド」が行っている活動を支援し、研修会を開催する。

### 3 **学習活動支援事業**

(寄附行為第4条第3号に掲げる事業)

(目的) 生涯学習活動に関する様々な情報の収集及び発信、学習相談など幅広い市民の学習活動を支援するとともに、多様な視点から生涯学習活動のきっかけづくりを提供し、生涯学習の普及啓発を図る。

#### (1) **メディアプラザ運営事業**

学習に関する相談、人材・サークル等の情報提供及び活動支援、図書の閲覧・貸し出し、音楽・映像・語学教材の視聴、インターネットによる情報検索など、生涯学習に関する豊富で幅広い情報を提供する「メディアプラザ」を運営し、市民の学習活動を総合的に支援する。

また、平成21年度に参入した中央図書館ネットワークにおいて、一層の利用者拡大を図れるようサービスの充実に努める。

#### (2) **生涯学習情報収集・発信事業**

##### **ア 生涯学習センター広報誌「La Chieriatte (ら・ちえりあって)」の発行**

生涯学習センターの機能や事業を広く市民にPRする広報誌「La Chieriatte (ら・ちえりあって)」を、市民と協働で制作し発行する。(年4回 計60,000部発行)

##### **イ ちえりあ市民記者クラブ**

生涯学習センター広報誌「La Chieriatte (ら・ちえりあって)」の誌面づくりを通して、文章の書き方などを実践的に学ぶ講座を実施する。(半年間)

##### **ウ ホームページでの案内**

生涯学習センターホームページのリニューアルを図り、動画配信や各種講座の情報などの情報発信を積極的に行う。

##### **エ 生涯学習情報誌の発行**

市内で提供されている生涯学習の機会について、広く情報を収集し、市民に発信する学習情報誌を発行する。(年2回 計6,000部)

##### **オ 「子どもの学びガイド」の発行**

市内の子ども向け学習機会について、広く情報を収集し全市立小学校児童に発信する「子どもの学びガイド」を発行する。(年4回 計約372,000部)

### (3) 生涯学習普及啓発事業

#### ア ちえりあフェスティバル

生涯学習センター、宮の沢若者活動センター、教育センター、リサイクルプラザの4施設が共同して、市民と交流を深めるイベントを開催する。(平成23年8月)

#### イ サークル発表会

「ちえりあ」や市内で活動している団体の学習意欲の向上やサークル間の交流を図るため、音楽や舞踊などの舞台部門と、書道や絵画などの展示部門によるサークル発表会を開催する。(平成23年11月)

#### ウ 幼稚園児のお絵かき展

社団法人札幌市私立幼稚園連合会の協力のもと、生涯学習センターロビー等で幼稚園児による作品展を開催する。(年10回)

#### エ ちえりあロビーコンサート

市民が気軽に音楽文化に触れる機会を提供するとともに、出演団体を公募し、音楽活動の発表の場を提供する。(年10回)

#### オ 市民カレッジ作品展

受講生の学習成果の発表とさらなる学習意欲の向上を図るため、ロビーで作品展を開く。

#### カ ホール・ロビー等にぎわいプロジェクト

ホールやロビーを活用し、多様な市民が集い、交流するイベント等を実施する。子ども同伴で参加できるコンサートや、1Fエスカレーター横の壁(スペース)で、アート作品の展示を行うなど、多角的に生涯学習の普及と啓発を図っていく。

### (4) 共催事業

#### ア 中学校校内放送コンテスト(共催:札幌市中学校放送教育研究会)

市内中学校の放送局員が制作した番組とアナウンサーのコンテストを開催する。(平成23年7月)

#### イ 中学校校内放送技術講習会(共催:札幌市中学校放送教育研究会)

市内中学校放送局員の技術向上を図るための講習会を開催する。(年2回)

#### ウ 日本映画名作祭2011(共催:札幌映画サークル)

東京国立近代美術館フィルムセンターから貴重な日本映画フィルムの提供を受け、4作品を2日間上映する。札幌映画サークルと実行委員会を組んで実施する。(平成23年10月)

## (5) 文化振興事業

質の高い芸術・文化に触れる機会を提供するとともに、地域に根ざした芸術・文化の活性化を図るため、以下のイベントを開催する。

### ア ちえりあ寄席

社団法人落語芸術協会と連携し、伝統芸能「落語」に親しめる道内唯一の本格的な寄席「ちえりあ寄席」を実施する。(平成23年8月)

### イ ちえりあ学生寄席

「ちえりあ寄席」のステージを活用し、落語などの芸能文化を学ぶ学生に成果を発表する機会を提供する。(平成23年8月)

### ウ 落語学校鑑賞会

落語芸術協会と連携し、市内小学校を無料招待(6校)して、子どもたちに日本の伝統芸能文化である「落語」に触れてもらう鑑賞会を実施する。(平成23年6月)

### エ ちえりあ特選若手落語会

これからの落語文化を担っていく若手落語家の魅力を市民に紹介するとともに、気軽に落語を楽しむことのできる機会を提供する。(平成23年6月)

### オ カルチャーナイト

カルチャーナイトに参加し、ちえりあの施設や視聴覚教材を活用した催しを実施する。(平成23年7月)

### カ イマジン音楽祭

イマジン音楽祭実行委員会と連携し、小・中・高の児童・生徒が平和をイメージして作った詩に地元音楽家が曲を付けて発表するコンサートを実施し、音楽を通じた平和教育を推進する。(平成23年10月)

### キ ちえりあオペラシアター

当センターが所蔵するオペラ教材を用いた講座を実施し、市民に質の高い芸術に気軽に触れられる機会を提供する。(年6回)

### ク ちえりあ映画会

当センターが所蔵する映像教材(16ミリフィルム・ビデオ・DVD)を使用した映画会を実施する。一般向け作品を4回実施し、親子向け作品は好評のためこれまでの2回から4回に増やして開催する。(年8回)

## 4 **調査研究事業**

(寄附行為第4条第4号に掲げる事業)

(目的) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習事業のあり方について調査研究する。

### (1) **生涯学習に関わる調査研究事業**

市内の公共施設等で実施される生涯学習の状況を調査し、今後の事業展開や、学んだ成果を地域に活かす活動のあり方について検討する。

## 5 **生涯学習関連施設管理運営事業**

(寄附行為第4条第5号に掲げる事業)

### (1) **札幌市青少年科学館等管理運営事業**

札幌市からの指定を受け、科学及び科学技術に関する知識の普及啓発を通して創造性豊かな青少年等の育成を図ることを目的として、札幌市青少年科学館及び札幌市天文台の管理運営を行う。

(所要経費) 443,599 千円

## ア **展示事業の運営**

### (7) **常設展示**

宇宙、北方圏、電気、力学などのテーマに沿った展示物を、より楽しく、また理解しやすくするよう努め、来館者に科学への興味・関心を深めてもらう。

また、札幌市と連携し、新しい展示物の制作・設置にも取り組む。

### (4) **展示実演等**

楽しみながら科学の原理や技術の理解が深められるよう、サイエンスショーや、テレビスタジオ及び、低温展示室での解説を交えた実演など、参加型の展示を行う。

(h) 特別企画の開催

・ 夏休み・冬休み等特別展

夏休みや冬休み等の期間に、話題性の高いテーマや特定のテーマを深く掘り下げた体験型展示中心の特別展を実施する。

・ 巡回展・企画展等

年間を通し、必要に応じて、特定のテーマに沿った巡回展や企画展を実施する。

(I) 講座・教室等

科学に親しんでもらうための実験・工作教室、講座等を行う。

日曜実験室	自ら実験することで、子どもたちの「科学する心」を養う。生活に密着した題材や遊びの要素を取り入れ、実験内容の理解を促す。
科学館の工作室	主に小中学生を対象に、科学的動作原理、材料の利用、道具の正しい使い方等の習得とものづくりへの興味を喚起する。 大人向けの内容も実施する。
サイエンジャー 科学教室	月1回程度、主に小中学生を対象に、工作・実験等の科学教室を実施する。 大人向けの内容も実施する。
親子向け 実験・工作教室	親子で一緒に、科学をより身近で親しみやすく感じてもらえることができる実験・工作教室を実施する。
ちびっこ ワークショップ	主に就学前の子どもとその保護者を対象に、遊びの要素を多く取り入れた、科学に親しみを持ってもらえる事業を実施する。
工作競技会	科学への興味を喚起するため、自分で工作した物を使った競技会を実施する。
バックヤード ツアー	リピーターを含めた来館者の好奇心を満たすため、普段見ることのできない展示室の裏側を見学する事業を実施する。
科学クラブ (Sci キッズ) 運営	小中学生を対象に半年毎にクラブ会員を募り、会員向けの実験や教室等を開催してリピーターの拡大に繋げる。

(f) 学校連携・支援事業等

主に市内小学校・中学校と連携して教室や講座を実施する。また、授業や学校活動等への支援も行い、学校との関係を密接にする。

移動科学館	小学校等に出向いて実験や実演などを行い、理科授業に協力する。
-------	--------------------------------

幼児のための 出前サイエンス	就学前の子どもが楽しみながら科学に慣れ親しむことができるよう、幼稚園等へ出向き、遊びの要素を多く取り入れた実験・実演・工作教室等を開催する。
中高生による 科学教室	中学・高校生の科学研究を支援するため、生徒自身が研究成果や制作品等の展示・実演・解説等を行う機会を提供する。
大学生による 科学教室	大学生の科学研究を支援するため、大学生が講師となり、子どもたちに科学教室を実施する機会を提供する。
総合的な学習の 受け入れ	児童生徒の自主研修等を受け入れ、質問に対応するなど、総合的な学習への支援を行う。
職業(職場)体験の 受け入れ	学校からの依頼により職場体験を受け入れ、学習活動への支援を行う。
実験実習セットの 貸し出し	学校では準備が困難な実験・実習キットを貸し出し、授業効果の向上に協力する。
家庭教育学級の 受け入れ	札幌市内小学校の家庭教育学級を受け入れ、家庭の教育力の向上に協力する。
教員研修	授業やクラブ活動に生かせる観察・実験の紹介や実習を行い、教材研究に協力する。
博物館実習等の 受け入れ	大学からの依頼により学芸員の資格取得を目指した博物館実習生やインターンシップ体験実習等を受け入れ、指導する。

#### (カ) 科学館ボランティアの養成

実験や工作の手伝い等をはじめとした、自らが楽しみながら、科学普及の一翼を担えるような人材を養成する。

### イ 天文事業の運営

#### (7) プラネタリウム投影

プラネタリウムの機能を活かし、天文教育の普及啓発を行う。

一般投影	星や星座についてわかりやすく解説し、天文学の初歩から最新情報までを学習する機会を提供する。
学習投影	小中学校の理科授業の一環として、教室内では表現できない天体の動きや満天の星空の疑似体験を通して天文への興味関心を喚起する。
特別投影	季節あるいは新しい天文的話題に絞った投影や通常よりも掘り下げた内容の投影を、夜間を中心に行う。(年7回程度)
オート番組制作	オリジナルの内容を盛り込んだ、一般投影等で上映するオート番組を制作する。

イブニング プラネタリウム	一般投影を週末の夜間に行い、通常の開館時間中に来館できない人に観覧機会を提供する。(年6回程度)
字幕つき プラネタリウム	一般投影に字幕をつけ、聞きとりに障がいのある方等に鑑賞の機会を提供する。星の名前や用語などを視覚的に表現することで、学習理解を助ける。

(イ) 天体観望事業

天体観望会	主にプラネタリウム特別投影やイブニングプラネタリウムに併せ、科学館駐車場において移動天文車等を使った観望会を行う。
移動天文台	移動天文車等を各所に派遣し、天文台を利用する機会の少ない市民に、自分達の住む地域で天体観望する機会を提供する。
札幌市天文台 公開	日中は太陽観望、夜間は季節の代表的な天体を観望する機会を提供するとともに、天文に関する話をしたり質問に答えたりすることで、天文に対する興味・関心を高め、天文台の利用拡大を図る。

(ウ) 教室・講座等

天文に親しんでもらうための工作教室、講座等を行う。

大人のための 天文教室	初心者向けの教室や天文について一步踏み込んで知りたい中級者向けの教室など、学習段階に応じた内容に分け、天体観測機器やプラネタリウムを活用しながら実施する。(年5回程度)
親子天文教室	小学生とその保護者を対象に、天文工作(手作り望遠鏡等)と天体観望を組み合わせた講座を実施する。(年2回程度)
宇宙セミナー	第一線で活躍する専門家等を招き、最新の天文情報に基づく、宇宙・天文についての興味・関心を高めるための講座を実施する。

(エ) プラネタリウム祭り

プラネタリウム内でのコンサートや絵本の読み聞かせ等、科学以外のジャンルと組み合わせた内容を提供することにより、プラネタリウムの認知度を高め、天文事業の普及啓発を図る。

(オ) 4次元デジタル宇宙シアター

国立天文台開発の4次元プログラムによる宇宙空間の立体映像を解説を交えて上映し、天文に対する興味・関心を高める。

(カ) 学校連携・支援事業等

小中学生を対象に、理科授業支援の一環として「プラネタリウム学習投影」を行う。(再掲)

(キ) 天文指導員の養成

生涯学習の一環として、天文に興味をもっている学生や一般を対象に定期研修や天文事業への参加機会を提供し、天文普及の一翼を担う人材を養成する。

## ウ 共催事業

### (7) 札幌市中学校「私たちの科学研究発表会」(札幌市中学校文化連盟)

市内中学校の科学クラブを対象に、研究活動発表会を開催する。(平成23年1月頃)

### (4) 科学技術週間事業「科学映画会」(日本科学技術振興財団)

科学技術週間協賛事業として科学技術映像祭の入選作品を上映する。(平成23年5月頃)

### (9) 青少年のための科学の祭典札幌大会(日本科学技術振興財団他)

小中学生を対象として、実演を中心にした内容で出店形式による実験や工作を行い、青少年の科学に取り組む意欲を喚起する。(平成23年9月頃)

### (E) 気象講座「新しい気象」(日本気象学会北海道支部)

身近な気象現象や話題性のあるテーマについて、専門の講師が最新の研究・情報をわかりやすく紹介し、気象学の啓発を図る。

### (4) 「宇宙の日 作文・絵画コンテスト」(財団法人日本宇宙フォーラム)

宇宙の日(9月12日)を記念して、小中学生を対象に「宇宙に関する作文・絵画コンテスト」を行い、受賞作品を表彰する。最優秀作品は全国審査に進む。

### (4) 札幌市創意くふう作品展(札幌市創意工夫教育研究会他)

小中学生の自由研究等で制作した応募作品から審査を経て入賞した作品の展示を行い、入賞者を表彰する。

### (4) 北海道青少年科学技術振興作品展(北海道発明工夫教育連盟他)

小中学生の自由研究等で制作した応募作品から審査を経て入賞した作品の展示を行い、入賞者を表彰する。

### (7) 定山溪自然の村観望会(共催:財団法人札幌市青少年女性活動協会)

昨年度まで実施していた道民の森(当別)から定山溪自然の村へ会場を移し、光害の少ない地域において星雲や流星などの淡い天体を見る機会を提供する。(平成23年8月頃)

### (7) さっぽろ星まつり

市内の大規模公園と共催で、天体観望事業を実施する。(平成23年9月頃)

## エ 学習支援・情報発信事業

### (7) 学校連携支援事業等

理科授業や総合的学習への支援をはじめ、市内小中学校等と連携した事業を行う。

### (4) 天文相談コーナー(星のへや)の運営

代表的な天体望遠鏡や参考図書などを備えた天文相談コーナー「星のへや」を設け、初歩的な質問に答えるなど、天文学習を支援する。

**(ウ) ホームページによる学習支援・情報発信**

科学館ホームページ内に科学トピックスやワークシート等を掲載し、最新情報の提供や学習の支援を行う。また、天文サイト内の「天文Q & Aコーナー」では、本で調べることが難しい質問への回答を掲載する。

**(エ) 「科学館ニュース」等による情報提供**

最新のイベント情報等を盛り込んだ「科学館ニュース」を毎月発行し、館内に掲示するほか、市内小中学校・幼稚園等に配布する。

**(オ) 科学技術に関する資料の収集**

展示物などの解説や更新・改良の基礎資料として、市販の出版物や他施設における発行物等を収集する。

**(カ) 天文資料の収集**

天文に関する解説資料や出版物を収集するとともに、札幌市天文台及び移動天文車等を活用して観測天体写真を撮影し、資料として収集する。

**オ 利用者等の声を活かす取り組み**

**(7) 科学館運営協議会の開催**

学校関係者や学識経験者、地域有識者等から成る協議会を開催し、事業の検証や助言を運営に活かす。

**(4) 小学校・中学校連絡会の開催**

市内小学校及び中学校から、理科教諭を中心に科学館の在り方や学校との連携方法等について意見を聞く場をそれぞれ年1回以上設け、運営に活かす。

**(ウ) 子ども科学会議の開催**

市内小学校の児童を中心に、科学館への要望や、あったらいい展示物などの意見を聞く場を年1回以上設け、運営に活かす。

**(エ) 利用者アンケートの実施**

特別展や特別投影等の主な事業において、利用者に対しアンケートを実施し、その後の事業実施に活かす。

**カ 施設設備等拡充事業**

**(7) 券売システムの改修**

入館時の発券作業を効率化するため、発券の自動化を含めたシステムの改修を行う。

**(4) ホームページの改修**

ホームページ上で実験教室等の申込受付が可能となるようシステムの改修を行う。

**(ウ) 展示物の制作**

展示物をより充実させるため、新規展示物の制作を行う。

## **(I) 天文車の改修**

天文車の機能を十分に活かすため、オーバーホールを中心とした整備改修を行う。

## **キ 青少年科学館開館30周年記念事業**

開館30周年を記念して、利用者への感謝を表すとともに新たな利用者開拓にもつながる催しを行う。23年2月に実施した小惑星探査機「はやぶさ帰還カプセル特別展示」を皮切りに、講演会や感謝キャンペーンなどを、年度を通して実施する。

## **(2) 札幌市生涯学習センター管理運営事業**

札幌市の指定を受け、市民の生涯学習に関わる活動を支援することを目的として、札幌市生涯学習センターの管理運営を行う。

### **ア 貸室事業**

市民の幅広い学習活動を支援するため、ちえりあホールおよび各種研修室をそれぞれの活動の場として提供する。

なお、ちえりあホールにおいては、更なる利用促進を図るため、利用日が30日以内の申し込みの直前割引サービスを継続して実施する。

さらに、ホール利用率を向上させるため、積極的な営業活動に努める。

また、陶芸室、焼窯室においても、引き続き、利用者負担の軽減及び利便性並びに利用率の向上を目的とした、割引サービスを実施する。

### **イ 施設の有効活用**

学習成果の発表の場として展示スペースの無料提供、受験生等に対する空き室の開放等、利用者のニーズに合わせた弾力的な運営を行う。

### **ウ 利用者の声を活かす取り組み**

#### **(7) 生涯学習センター運営協議会**

札幌市教育委員会が学識経験者等により設置した協議会に出席し、事業の検証や助言を生涯学習センターの運営に活かす。

#### **(イ) 利用者アンケートの実施**

利用者を対象に、接遇等の満足度を測るアンケートを実施する。その結果は、市民からの意見等の分析と併せてセルフモニタリングなどに活用し、その後の事業に活かす。

### **(3) 視聴覚センター管理運営事業**

札幌市からの委託を受け、視聴覚教育の推進と市民団体や学校等への学習支援を行うことを目的として、視聴覚センターの管理運営を行う。

#### **ア 学習教材開発事業**

提供教材の充実を図るため、学校教育及び社会教育の関係者等に委託して、市販教材にはない、地域に密着した特色ある教材を制作する。

#### **イ 視聴覚教材貸出事業**

市内の学校、町内会及びサークル等の団体に対して、16ミリフィルム・ビデオ・DVD教材の貸し出しを行う。

また、ホームページ上で行っている自主制作教材の配信「デジタルアーカイブス」を、継続して実施する。

#### **ウ 視聴覚学習機会提供事業**

学習活動や地域活動の中での16ミリ映画利用促進を目的として16ミリ映写機操作技術講習会を開催する。(年4回)

## 6 **収益事業**

(寄附行為第4条第6号に掲げる事業)

### (1) **売店・自動販売機事業（札幌市青少年科学館）**

札幌市青少年科学館の管理運営に附帯する事業として、来館者への便益提供を目的とした売店・自動販売機事業を行う。

### (2) **レストラン・自動販売機事業（札幌市生涯学習センター）**

札幌市生涯学習センターの管理運営に附帯する事業として、来館者への便益提供を目的としたレストラン・自動販売機事業を行う。